

【R 1 8】女性向け・会話形式ノベル

『無限の快樂』

～第3話：新たな不倫のはじまり～

作：七条右京

【主な登場人物】

さくらいかえで
・ **桜井 楓**：私（女子社員）

きょうごく りょう た
・ **京極 涼太**：課長

きょうごく りん
・ **京極 凛**：課長の妻

しのめ ゆい
・ **東雲由衣**：女子社員（楓と同期）

さくした としき
・ **作下利樹**：男子社員

ゆめか
・ **夢香**：バーの女性スタッフ

お泊りバーベキューから一週間が過ぎた。

．．．

凜から浮気を疑われた涼太は、楓との情事を毎週水曜日ではなく、不定期にする事にした。

．．．

お泊りバーベキューの時に、凜から涼太の浮気相手を調べてくれる様に頼まれた男子社員の作下。

凜に心がひかれた作下は、気に入られる様に、必死になって女子社員達を観察する。

．．．

同期で同じ年の東雲由衣は、楓と涼太の關係に確信を持ち、「奥様には黙っててあげますから」と言って、涼太に情事を迫る。

○ 6月1日（月） 昼の社内

廊下で、涼太とのすれ違い際に由衣、

東雲由衣：

「課長、私、知ってるんですよ」

「楓との事」

京極涼太：

「何の事だか分からないな」

由衣：

「そうなんですかあ〜」

「ちょっとこれ見て下さい」

楓と涼太がホテルで密会している写真を、

スマホで見せる。

涼太：

「君、これは？」

由衣：

「私、たまたま用があってこのホテルに行ったんですよ」

「そしたら、楓と課長が会ってるの見て」

「課長と楓って、そんな関係だったんですね」

涼太：

「頼むから、妻には黙っていてくれないか？」

由衣：

「いいですよ」

「私、これでも口が堅いですから」

涼太：

「助かるよ」

由衣：

「但し、条件があります」

「奥様に黙っててあげますから、私にも楓にする様にして貰えますか？」

「今夜7時に、例のホテルのロビーで待ってます」

「あっ、お部屋とるのを忘れないで下さいね」

「もし、来ない時は、奥様に言っちゃいますから」

涼太：

「君って言うコは」

「ほんとにもう」

「分かったよ、必ず行くよ」

「今夜7時だな」